

公益社団法人くまもと被害者支援センター
平成30年度事業報告
(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

I 犯罪被害者等に対する支援事業 (公益目的事業1)

第1 相談事業 ※()内は、前年比増減数

平成30年度中に被害者支援センター相談窓口、ゆあさいどくまもと相談窓口の取扱件数は1,374件 (+229) で、詳細は別紙のとおりである。

1 電話相談

(1) 被害者支援センター相談専用電話 096-386-1033

月曜～金曜 (平日) 10:00～16:00に開設しており、受案件数は344件 (+14) (メール32件 (-20) を含む) で、新規相談者数は104人 (+27) であった。

(2) ゆあさいどくまもと相談専用電話 096-386-5555

12/29～1/3を除く毎日、4交代による24時間電話相談を受け付けており、受案件数は905件 (+187) (メール92件 (-14) を含む) で、新規相談者数は159人 (-14) であった。

(3) 全国共通ナビダイヤル 0570-783-554

全国被害者支援ネットワークに開設された犯罪被害者等電話サポートセンターにおいて、年末年始を除く7:30～22:00の間の電話相談事業であり、昨年度、センター開設時間内につながった相談取扱件数は4件であった。直接支援に繋がる事案はなかった。

2 面接相談

平日の執務時間中に相談員による面接相談を行っており、対応数は125件 (+28) (性暴力関連65件 (±0)、総合相談60件 (+28)) であった。

3 専門相談

(1) 心理相談

電話・面接相談の結果、メンタルケアを必要とする被害者等のために、センターに登録された臨床心理士 (又は精神科医) により、費用を当センターが負担するカウンセリングを行った。

相談件数 19件 (+5)

(2) 法律相談

電話・面接相談の結果、法律専門家による相談が必要と認められる被害者等に対し、センターに登録された弁護士により、初回のみ費用を当センターが負担する法律相談を行った。

相談件数 42件 (+15)

第2 直接的支援事業 ※()内は、前年比増減数

1 危機介入事業

犯罪被害者等早期援助団体への警察からの情報提供による支援要請や、被害者等の要望に基づき、犯罪被害直後から支援が必要と認められる被害者等に対し、現場、病院、被害者宅等で必要な情報の提供、相談、生活支援等の応急の援助活動を実施した。

警察提供情報受理件数 23件 (+6) (内ゆあさいどくまもと 8件 (-1))

2 付添い等の支援

被害者等の要望に応じて被害者等の精神的負担の軽減を図るための付添い等の支援を行った。

警察関連支援	14件 (+3)
裁判関連支援	85件 (+23)
検察庁関連支援	14件 (-1)
弁護士相談付添	51件 (+13)
行政窓口等への付添	3件 (+1)
病院付添	4件 (-10)
カウンセリング付添	1件 (-3)
自宅等訪問	18件 (+7)
物品の供与・貸与	1件 (-3)
生活支援	0件 (-2)
宿泊施設提供	0件 (±0)
支援金等の支給	6件 (+1)
その他	5件 (-1)
合計	202件 (+28)

※その他 関係機関連絡調整、情報収集・提供等

第3 各種手続の補助事業

1 犯罪被害者等給付金申請補助事業

被害者等の相談を受ける中で、犯罪被害者等給付金の支給対象となる可能性がある被害者に対して、制度の概要及び手続き等の説明を行った。

概要説明 3件 申請補助件数 0件

第4 自助グループ支援事業

1 自助グループ「さくらの会」例会の開催

被害者等への長期的な支援として、被害者遺族が、つらい経験を被害者等同士で語り合うことで被害の克服を図ることを目的に集う自助グループ「さくらの会」に対して、交流場所の提供やファシリテーター（自助グループ例会における進行・調整役）の育成等を行っている。

□メンバー 殺人事件被害者ご遺族 8人 交通事故被害者ご遺族 6人

□定例会 毎月1回開催 第2水曜日 13:30～15:30

2 性暴力被害者のための自助グループ立ち上げに向けた検討会の開催

性暴力被害当事者への長期的な支援として、被害当事者同士が、つらい経験を語り合うことで被害の回復を図ることを目的に集う「性暴力被害者のための自助グループ」を、平成31年度中に立ち上げるための検討会を開催した。

日	時	第1回検討会	平成30年11月19日（月）	19:00～20:30
		第2回検討会	平成31年 2月20日（水）	19:00～21:00
		第3回検討会	平成31年 3月20日（水）	19:00～20:40
場	所	センター相談室		
参加者	当事者1人 相談員3人			

3 手記集の発行

被害者等がその思いを綴った手記集「もう一度、微笑んで」第八集を1,000部発行した。

第5 関係機関・団体等との連携による被害者支援事業

1 警察等との連絡及び情報提供

警察、検察庁、保護観察所等、被害者支援に関する情報交換を密に行って、各機関の活動状況の他、個別案件に関する情報についても可能な範囲で入手し被害者対応に反映させた。

2 各種会合への参加

熊本県犯罪被害者支援連絡協議会（事務局：県警察本部犯罪被害者支援室）に参加し関係機関にセンターの活動状況を積極的に紹介するとともに、被害者支援情報の交換や相互協力を行った。

3 公益社団法人全国被害者支援ネットワークとの連携

「全国被害者支援ネットワーク」との連携を図り、合同の研修会等への参加等を図りながら支援機能の向上に努めた。

4 産婦人科医療機関や自治体等との連携

性暴力被害者の心身の負担を軽減するため、産婦人科医療機関とのネットワークを構築し、被害者に対する医療措置の要請、医療時における付き添い等の連携を図った。

第6 被害者等の実態等に関する調査及び研究事業

1 刊行物による情報収集

当センターの支援対象となる事件の裁判等に関する情報や、被害者等の実態等に関する情報を新聞、雑誌等の刊行物から収集し、資料化した。

第7 相談員・被害者支援ボランティアの養成及び研修事業

1 相談員・支援員の養成

(1) 平成30年度ボランティア養成講座（入門編）～第17期受講生～

被害者支援活動に携わるボランティア希望者を募集し、全国被害者支援ネットワークによる研修プログラムに沿ったカリキュラムにより養成のための講座を開催した。

日 時 平成30年6月7日（木）～平成30年10月26日（金）

場 所 熊本テルサ研修室 他

受講者数 10人 縣市町村担当者聴講者 6人

修了者数 6人

(2) 平成30年度 直接的支援員・ゆあさいど相談員養成専門講座

日 時 平成30年12月9日（日）～平成31年2月5日（火）

場 所 県庁西側事務棟 他

受講者数 9人

修了者数 4人 認定者3人

2 相談員・被害者支援ボランティアの継続的な研修

ボランティア養成講座を修了した登録ボランティアに、電話相談員や直接支援員として支援活動に必要な専門的知識や技能を習得してもらうための継続的な研修を実施した。

今年度から新たに、電話相談のスキルアップを図るための「ピア・スーパービジョン」を開催し、実際の電話相談のケースを、ピア＝仲間（相談員同士）で事例検討した。

また、各事案について専門家をまじえてケース検討会を行う他、全国被害者支援ネットワークをはじめとする他機関が開催する研修会や講演会に職員を派遣した。

(1) 支援連絡会議（ケース検討会）

日 時 平成30年4月17日（火）～平成31年3月19日（火）

毎月第3火曜日 13:30～15:30

場 所 センター研修室

参加者 相談員12人

(2) 平成30年度ゆあさいどくまもと相談員継続研修

日 時 平成30年4月18日（水）～平成31年3月20日（水）

毎月第3水曜日 13:30～16:30

場 所 センター研修室、熊本テルサ研修室 他

(3) 平成30年度ゆあさいどくまもと「ピア・スーパービジョン」

日 時 平成30年5月28日（月）～平成31年3月11日（月）全5回

場 所 センター研修室

参加者 相談員9人

3 臨床心理士等によるスーパービジョンの実施

被害者等からの相談に従事する相談員・被害者支援ボランティアに対して、臨床心理士等により、専門的立場から指導助言を行ったり相談に応じる等、支援者自身のメンタルケアにも努めた。

件数 6回

Ⅱ 犯罪被害者等の支援に関する広報及び啓発事業（公益目的事業2）

第1 広報啓発事業

1 機関誌及びリーフレットの作成・配付事業

犯罪被害者支援活動を効果的に推進するため、次の資料を作成し、賛助会員、関係機関団体、企業等に配布し、被害者支援意識の高揚を図った。

資料名	部数
機関誌「センターニュース」第31号（平成30年5月）	2,500部
機関誌「センターニュース」第32号（平成30年10月）	2,500部

2 各種広報媒体を活用しての広報・啓発事業の継続推進

インターネットを利用した広報活動を継続するとともに、公共交通機関（市電）における中吊り広告を実施した。

3 設立15周年記念事業

(1) 「ゆあさいどくまもと」開設3周年記念フォーラムの開催

開設3周年を迎えたことを記念し、武蔵野大学教授で精神科医の小西聖子さんを講師として招き講演会を実施した。県外を含めた多くの関連業務の従事者が参加し「ゆあさいどくまもと」の周知、関係機関との認識の共有、ボランティアの意識向上等有意義な講演会であった。

(2) 「いのちのうた一行詩コンテスト」事業の実施

内閣府で策定された「犯罪被害者等基本計画」において定められた「犯罪被害者週間（11月25日～12月1日）」にあわせて、一行詩「いのちのうた」コンテストを開催した。

○ 事業概要

本コンテストは、くまもと被害者支援センターの設立15周年と、RKK熊本放送の開局65周年のキャンペーン事業として開催した。一行詩とは、短い詩のことで一息で読める長さを；一行；とし、「いのちを考える」をテーマに50字以内の詩を募集し、3,263編の作品の投稿があった。

○ 表彰

最優秀賞 4名（小・中・高・一般の中から1編）

優秀賞 12名（小・中・高・一般の中から3編）

入選 40名（小・中・高・一般の中から10編）

学校賞 3校（小・中・高校の各部門1校ずつ）

4 ホームページによる広報事業

当センターの活動内容等を紹介したホームページを随時更新し、センターによる広報啓発を推進した。

5 ゆあさいどくまもと広報啓発

ゆあさいどくまもとの認知度向上を図るために各種の広報啓発活動を行った。

(1) 出前講座

実施回数 19回 受講者3,187人
中学校2校 446人 高校6校 2,150人 大学1校 105人
市民グループ1件 10人 児童養護施設3件 123人
県内小中高校の教職員及び保護者 353人

(2) WEB広告

ア ヤフーディスプレイに「ゆあさいどくまもと」の案内が表示され、クリックすると「ゆあさいどくまもとホームページ」に繋がる広告を熊本県内、女性に限定して配信した。

・ヤフーディスプレイ 表示回数 14,45万5379回 クリック数 11,615回

イ ユーチューブに「ゆあさいどくまもと」の説明動画とオリジナルソングが60秒にわたって流れる広告を配信した。

・ユーチューブ 表示回数 478,402回 視聴回数 258,222回(100%再生率46.04%)

Ⅲ 管理部門

第1 業務執行体制の整備と強化

1 ファンドレイジング活動の推進

警察官友の会、各種奉仕団体、個別企業・団体に対して活動状況を説明し、新規会員加入、寄附の募集等を行った。

(1) 支援型自動販売機の設置促進

飲料メーカーの社会貢献活動の一環として推進される「犯罪被害者支援型自動販売機」の設置を促進し、設置店等や飲料メーカーからの寄附金による財政基盤の強化を図った。

□被害者支援自動販売機設置状況

年度	H24~26	H27	H28	H29	H30	累計
設置数(台)	63	27(撤去5)	7(撤去3)	46(撤去12)	8(撤去5)	126
寄附額(円)	1,279,232	1,173,452	1,362,917	1,503,775	4,394,045	9,713,421

(2) 賛助会員の新規獲得

各種団体等で呼びかけ、個人及び法人の新規会員獲得に努めた。

・新規個人会員 26人 84,000円

・新規法人会員 8団体 80,000円

第2 理事会・総会の開催

1 平成30年度理事会・総会の開催

(1) 平成30年度第1回理事会開催

日 時 平成30年5月11日(金) 15:00~16:00

場 所 ホテル熊本テルサ

審議事項 平成29年度事業報告について
平成29年度決算報告について
役員選任について
非常勤職員任用等取扱規程の一部改正について

(2) 平成30年度定時総会開催

日 時 平成30年5月30日（水）16:00～17:00
場 所 ホテル熊本テルサ
審議事項 平成29年度事業報告について
平成29年度決算報告について
役員選任について

(3) 平成30年度臨時理事会開催

日 時 平成30年5月30日（水）17:10～17:20
場 所 ホテル熊本テルサ
審議事項 副理事長の選出について

(4) 平成30年度第3回理事会開催

日 時 平成31年3月25日（月）10:00～12:00
場 所 ホテル熊本テルサ
審議事項 平成31年度事業計画について
平成31年度収支予算について
平成30年度補正予算について
支援活動員になり得る者の認定について

<相談活動関係>

表1

Table 1: 相談の方法 (Consultation Methods). Columns include 電話, 電子メール, 手紙, 面接, その他, 計. Rows list various crime types like 殺人, 強盗, etc.

表2

Table 2: 被害者との関係 (Relationship with Victims). Columns include 本人, 妻, 夫, 母, 親, 子, 友人, etc. Rows list various crime types.

表3

Table 3: 相談の端緒 (Origin of Consultation). Columns include マスメディア, H, 書籍, リフレット, 警察, etc. Rows list various crime types.

Table 1 (continued): 新規相談 (New Consultations). Rows list crime types and their counts.

表4

Table 4: 相談活動内容 (Consultation Activity Content). Large table with columns for 電話, 面接, その他 (電子メール・手紙等), 相談員等, 法律, カウンセリング, 計. Rows list crime types.

Table 5: 男女別 (By Gender). Columns for 男, 女. Rows list crime types.

Table 6: 専門相談 (Specialized Consultation). Columns for 法律, 心理, 相談, 計. Rows list crime types.

Table 4 (continued): 相談活動内容 (continued). Rows list crime types and their counts.

<直接的支援関係>

表5

Table 5: 直接的支援関係 (Direct Support Relationship). Columns include 警察, 裁判, 検察, 弁護士, 行政, 病院, 付付, 自宅, 物品, 生活, 宿泊, 支援, その他. Rows list crime types.

表6

Table 6: 自助グループ開催 (Self-help Group Activities). Columns for 自助グループ開催. Rows list crime types.

<その他の活動関係>

表7

Table 7: その他の活動関係 (Other Activity Relationship). Columns include 広報啓発, 請罪, 犯罪, 被害, 給付, 申請, 業務. Rows list crime types.

Table 5 (continued): 直接的支援関係 (continued). Rows list crime types and their counts.